令和6年度 大森第一中学校における授業研究

《校内研修のテーマと授業研究について》

今年度は年間の研修テーマを「【教員のICTのレベルアップ】と【道徳教育の充実】」とした。本校では年度当初授業中のICT活用がまだ充分とは言えない状況でした。そのため、タブレット関連の研修と並行しながら、授業の中でいかにICT活用をしていくかを教員が一丸となって考え、取り組んでまいりました。また、道徳教育について、講師をお招きし、より深く考察することにより、生徒の豊かな情操の育成に向けて取り組みました。

《研修および授業研究の進め方》

【1学期】

- ・道徳の授業についての講演
- ・タブレット活用における今年度の取り組み目標の設定
- ・全教員によるICTを活用した授業の実践

【2学期】

- ・(校内研修会の実施) ICTを使った授業案についての教員間での共有
- ・ICT機器の機能についての研修
- ・道徳の授業案の作成と協議

【3学期】

- ・ICTを使った授業の実践と報告
- ・教員における授業研究についての協議と研修のまとめ
- ・道徳の研究授業と協議
- ・道徳の評価に関しての講師による講演と研修(研究)のまとめ

《研究の成果》

年度当初と比較し、授業でのICT活用が進み、学校全体としてタブレットを使う時間が増えた。また生徒の慣れとともに技能の習熟が進み、活用の幅が広がってきている。

Googleのアプリ、まなびポケットに入っているオクリンクプラスなども、授業により効果的に使える場面を見極め、授業の中で生かすことができた。また教科の授業だけでなく、総合的な学習の時間の校外学習の事前事後学習を始め、学校全体としてタブレットの活用の場面が増えてきた。ICTを活用し学習内容を視覚化することで、生徒同士で意見を共有することができ、他者の考えなどを参考に理解を深められる場面が増えてきている。また、「主体的で対話的な深い学び」にもつながる授業改善の実感がもってきている。新しい電子黒板の導入により、新しい活用の仕方も広がってきている。

道徳科についても、研修を通して教員一人ひとりが教科についての知見を深め、共通の理

解を図る場面をもてたことで、より一層「生徒が考える」道徳への授業改善の実感をもててきている。

《今後に向けての課題等》

似た機能のアプリケーションの選択を学校として行っていく必要がある。また、今年度はアプリケーションや機材の入れ替わりがあったため、活用するにあたっての使用経験を積む研修が必要である。

道徳については、今年度の研修を受け、実践の中で各教員が知識、技能を深めていく必要がある。